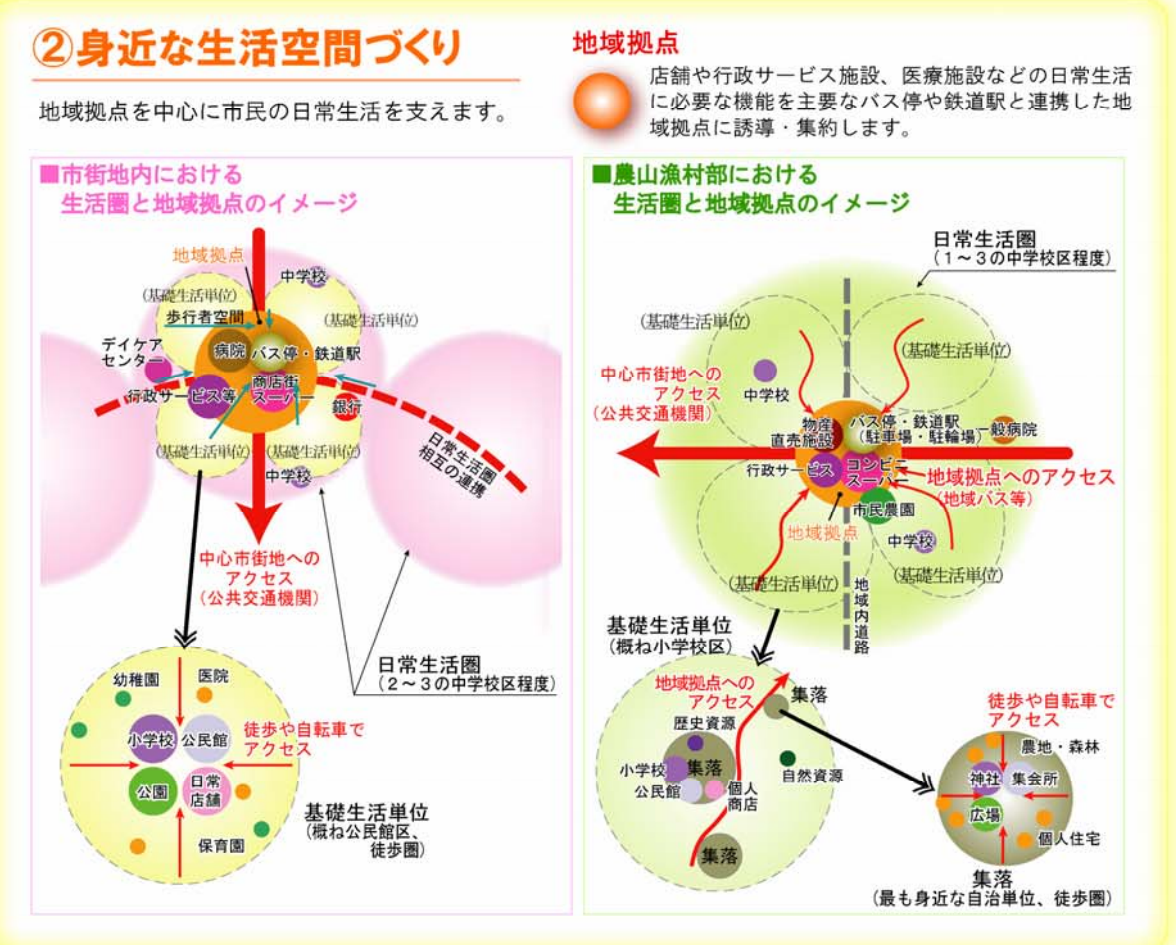


4つの視点から見た 将来の都市の姿 (都市構造図)

- ### ①多様な拠点づくり
- にぎわい交流の拠点**
商業施設や業務施設をはじめとした都市の機能の集積を活かしながら、中心市街地をにぎわい交流拠点として整備し、中心市街地の活性化を推進します。
 - 産業を支える工業・流通の拠点**
テクノポート福井、二日市地区、テクノパーク、市場周辺地区などを、福井市の産業を支える工業や流通の拠点として誘導します。
 - 緑と親しむスポーツ・レクリエーションの拠点**
足羽山公園、東山公園、福井運動公園、フェニックスパークを、緑と親しむレクリエーション拠点として整備します。
 - 歴史・文化の拠点**
一乗谷地区は、周囲の自然環境との調和を図りながら、歴史的・文化的環境を整え、歴史・文化の拠点として整備します。
 - 自然海岸と親しむレクリエーション拠点**
越前海岸一帯を自然海岸を楽しむ観光・レクリエーションの拠点として整備します。



■自然環境共生区域

- 田園環境**
市街地周辺に広がる優良農地の維持・保全を図るとともに、快適な集落環境の形成を図ります。都市住民と農村住民の交流の拠点づくりや体験学習の場などへの活用を図っていきます。
- 森林環境**
自然災害の防止や眺望景観の構成要素として維持管理・保全を図ります。棚田オーナー制度やグリーンツーリズムなど、多様な人々との交流の場や体験学習の場などへの活用を図っていきます。
- 海岸環境**
自然景観の維持・保全を図るとともに、レクリエーションゾーンとしての活用を図ります。特産販売施設や漁業体験など学習の場、ブルーツーリズムなど交流や連携の場づくりなどにも取り組みます。

■都市環境創造区域

「歩く」視点のもと、土地利用等を適正な密度に誘導し、持続可能な市街地を形成します。景観づくりとともに、公園や緑地、河川や用水を活かした心やすらぐ空間づくりを進めます。

③移動の骨格づくり

公共交通幹線軸

既存の鉄道やバスなどの公共交通軸を活用し、先導的なサービス改善を図ることにより、市民の自由な移動の確保、多様な交流の育成、様々な都市機能の誘導を図ります。

